

第1回遊佐町立学校適正整備審議会 会議録

会議日時 平成30年2月15日（木曜日） 午後 7時00分 ～ 8時20分

会議場所 遊佐町役場 議事所

出席者 ①歌川 裕（遊佐町小中学校長会会長）
②伊藤 順一（遊佐町小中学校長会庶務幹事）
③太田 くみ（蔵岡まちづくり協会）
④佐藤 憲三（遊佐地域づくり協議会）
⑤眞嶋 一（稲川まちづくり協会）
⑥伊藤 悦子（西遊佐地区まちづくりの会）
⑦小田原 裕（高瀬まちづくりの会）
⑧佐藤 浩毅（吹浦地区まちづくり協議会）
⑨今野 博義（蔵岡小学校PTA会長）
⑩川俣 善幸（遊佐小学校PTA副会長）
⑪高橋 智（藤崎小学校PTA副会長）
⑫阿部 勝志（高瀬小学校PTA会長）
⑬畠中 裕之（吹浦小学校PTA会長）
⑭那須 正幸（遊佐中学校PTA会長）
⑮池田与四也（遊佐町総務課長）
⑯伊藤 新一（遊佐中学校教育後援会会長）
⑰伊藤 淳子（杉の子幼稚園園長）

欠席者 ⑱佐藤 美紀（遊佐中学校PTA副会長）

傍聴人 山形新聞社記者 1名

協議事項 （1）審議会の公開と会議録の作成
（2）会議録署名委員の指名
（3）資料説明
（4）意見交換
（5）その他

※以下、赤字の部分については個人情報取扱いの観点より公開は控えさせていただきます。

協議内容の概要

佐藤教育課長 平日の夜分、寒い中お集まりいただきありがとうございます。今回、遊佐町立学校適正整備審議会、平成23年度以来6年ぶりの開催となります。皆さま方には、各構成となります団体に推薦を差し上げましたところ、快くお引き受けいただき誠にありがとうございます。これより平成29年度第1回遊佐町立学校適正整備審議会を開会させていただきます。

始めに委嘱状の交付を行わせていただきます。次第の裏面に名簿が載っております。大変申し訳ございませんが、代表受領という形で遊佐町小中学校長会を代表して、歌川先生に交付させていただきたいと思っております。

委嘱状の交付（教育長）

佐藤教育課長 続いて那須教育長よりあいさつを申し上げます。

那須教育長 みなさんこんばんは。2月も半ばを迎え、まだまだ寒さが続いている時期でございます。夜分にも関わらずお忙しい中お集まりいただき、町民の関心の高い重要な役目をお引き受けいただきましたことに感謝申し上げます。中には午後から行われた青少年育成協議会に引き続きこの会議という方もいらっしゃるようでございます。本当にありがとうございます。

今回は、平成24年度に出されました遊佐町教育委員会町立小学校適正整備に関する方針を受けてご審議いただくこととなります。遊佐町の学校の整備の歴史を大きな括りで振り返ってみたいと思っております。明治維新から150年の昨今、明治5年に学生の発布がなされ、全国に学校が創設されました。本町でも2年後の明治7年には町内各地に小学校の設立がなされています。4年前に創立140周年を祝った小学校も2つございます。戦後は昭和53年に杉沢小学校が蕨岡小学校に、白井小学校が遊佐小学校に統合され、町内の小学校は6校体制で推移してまいりました。中学校は平成5年に3校あった中学校が遊佐中学校になりました。かなりの年数をかけて準備を進めてきたと伺っております。多くの生みの苦しみがあって新制遊佐中学校が誕生し、今年度25回目の卒業式を迎えようとしております。創立当時学年7学級、全校で21学級、739名の生徒数でスタートし、来年度平成30年の1～3年生、在校生徒数は311名の見込みです。739名から311名に25年間で減少したということです。25年間で半分以下、計算したら42%でございました。数年後には各学年が100人を下回り全校で200人台となり、3学級になる見込みです。小中学校における児童生徒数の減少は全国的にも、本町でも添付資料にもありますようにさらに進む傾向にあります。前回の適正整備審議会の答申を経て平成24年度になされた原則として、「複式学級を設置しない」という遊佐町教育委員会の適正整備の方針に基づき、平成26年度には西遊佐小学校と稲川小学校が統合され藤崎小学校が誕生しました。町内の小学校が5校の体制になり今日に至っております。なお、答申には将来的には適正規模として学年内でクラス替えの可能な12学級から18学級が望ましい

とする町内の1小学校への適正配置の事項があったことを申し添えておきます。その後教育委員会では年度初めに「教育委員会だより」を発行し、年度ごとの子どもの出生数をまとめ、その推移を町民に情報提供したところでございます。このデータから複式学級の出現する学校が具体的にになってきた現状を踏まえて、この度の町立学校適正整備審議会の立ち上げとなりました。小学校の在り方が1番のテーマにはなりますが、小学校の児童数がどんどん減っていくというのはその後続く中学校の生徒数が必然的に減っていくことになります。必要に応じて中学校のあり方の課題にも言及していただき、子どもたちの望ましい環境はどうあればいいのか、小学校の適正配置以外にも付随する様々な課題やテーマに言及していただきたいと思います。必要があれば先進地の視察の実施を視野に入れて検討していただき、最終的な答申を頂戴したいと思っております。答申を尊重して教育委員会としての方針を定め、前に進めていきたいと考えております。忌憚のない真摯なご意見を頂戴しますようお願い申し上げます。

今日の新聞報道を見ますと思考力や表現力をこれまで以上に重視するとする、高等学校の学習指導要領の内容が示されました。大学の入学試験の内容も大幅に変わる、マークシート式から思考力、表現力重視の内容に変わっていくと言われております。小中学校ではすでに学習指導要領が示されております。いっそうグローバル化や情報化が進み、子どもたちにはAI、（人工知能）の活用が当たり前に議論される変化する時代にしっかりと生きていく力の育成が求められています。来年度から小学校では教科としての英語が前倒しで始まる予定になっております。

わたしはすでに古希を過ぎました。今日の委員の皆さまには若い方もたくさんいらっしゃいますが、わたしと同年代の方もいらっしゃいます。これから小学校で学ぶ子どもたちは、遊佐町あるいは日本の将来を担い、世界に誇れる日本人として生き活躍していただく子どもたちでございます。「先憂後楽」という言葉があります。心配な事には先に対応して後でゆっくり楽しんで歩んでいくという意味になるでしょう。私たち大人が先に難問に対応し、子どもたちにはより良い環境で楽というより楽しく学びに勤んでいただききたいという思いでおります。今ここにポイントを定めて、遊佐町で学ぶ子どもたちの学びの環境がどうあればいいのか真剣に考えていただき、10年先、20年先さらにその先を見据え、遊佐町の学校で学ぶことができ良かったと言ってもらえる結論を導き出していきたいと思っております。町の小学校中学校の将来のあり方は遊佐町の将来のあり方と重なっていくと認識しております。どうぞよろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

委員の紹介（委員の自己紹介）

佐藤教育課長　以上、本日は18名中17名の出席を頂いておりますので、設置条例第7条　審議会は委員の過半数により成立するとなっております。よって、本審議会は委員の過半数の出席により成立しておりますので宜しく願いしたいと思います。

佐藤教育課長　次に会長、副会長の選任でございますが、設置条例第4条　審議会に会長を置き、委員の互選により定めるとあります。皆様方から推薦等あればお願いしたい

と思います。

佐藤憲三委員 学校整備適正審議会の会議ということで、直接小学校に関係のない学識経験者である遊佐中学校教育後援会会長であります、伊藤新一委員を推薦致します。

佐藤教育課長 ありがとうございます。委員の皆様、伊藤新一委員でいかがでしょうか。
（「異議なし」の声あり）
それでは、会長に⑩学識経験者であります、伊藤新一委員にお願い致します。

会長 ⑩伊藤 新一 より挨拶

佐藤教育課長 それでは、副会長の選任でございますが、設置条例第4条3項にあらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理するとなっておりますので伊藤会長の方から副会長の指名をお願い致します。

伊藤新一会長 副会長には是非遊佐中学校PTA会長であります那須正幸さんをお願い致します。
副会長 ⑭那須 正幸

那須教育長 諮 問

協 議

伊藤新一会長 （1）審議会の公開と会議録の作成について
事務局お願いします。

佐藤教育課長 町のまちづくりを進めるための基本的な原則を定めまして、町民主役による自治を実現するため平成19年6月に遊佐町まちづくり基本条例を制定しております。その第6章に会議の公開と情報の共有が載っております。第18条には会議公開の原則が掲載されております。そのため、傍聴はもちろん、公開請求がございましたら、開示していくという形になりますし、個人情報に関わる部分に関しては公開しないこととなりますが、基本、原則公開という形で今後進めてまいりたいと思っております。なお、審議会等の会議の公開に関する規則もありますので、会議の傍聴について規定をされております。第5条で傍聴席を設けるということになっておりますので今回は事務局の隣に傍聴席がございます。今回から傍聴していただいております。なお写真撮影や録画等については審議会の長が認めたときはこの限りではないという規定もございます。会長からお諮りいただいて、山形新聞がみえており、写真を撮らせてもらえないかというお話もございますので最初にお諮りいただき、協議していただきたいと思います。

伊藤新一会長 ただいまの事務局の提案について、ご意見等ありましたらお願いいたします。
（「なし」の声あり。）

伊藤新一会長 「なし」ということなのでお願いいたします。

佐藤教育課長 それでは、写真撮影が許可されましたのでよろしくお願いします。

伊藤新一会長 ありがとうございます。それでは協議（２）会議録署名委員の指名。

佐藤教育課長 会議録の作成を行いますので、署名委員を指名していただきますが、これについては会長から２名の指名をお願いしたいと思います。

伊藤新一会長 それでは、委員名簿の①と②、歌川先生、伊藤先生に会議録署名委員をよろしくお願いします。みなさんよろしいでしょうか。
（「異議なし」の声あり。）

伊藤新一会長 ありがとうございます。それでは協議（３）資料の説明について、事務局に説明をお願いします。

佐藤教育課長 資料 1～資料 4の説明

伊藤新一会長 ありがとうございます。ただいま資料の説明、今後のスケジュールについて事務局からお話でしたが、何かご質問等ございますでしょうか。

佐藤憲三委員 さきほど、事務局から今年度の出生数が５８という発言がありましたが、私が１月３１日に町民課からいただいた出生数は６８なので間違っているのではないかと。ここに資料があるのでもう１度確認して頂けますでしょうか。

佐藤教育課長 分かりました。町民課に確認しまして、３月まで確定した数字を再度５月の時に資料を直したものを提出させていただきますのでよろしくお願いします。

佐藤憲三委員 会長、もう１ついいですか。今回の資料 4小中学校の今後を考える懇談会の報告を今日初めて見させてもらいました。Ｐ２の３．懇談会の中で集約された意見等の中の２つ目「・統合の段階で様々な問題があるならば早めの適正整備審議会の開催を。」とあるが、課題は山ほどある。それを疑問に感じました。もう１点、この懇談会の中で、あくまでも平成２３年に出された「複式学級を設置しない」「各学年において２学級以上の規模が望ましい」を頭に入れたところであれば、おのずと事務局で説明された平成３４年度のところになるだろうと思いますが、「複式学級を設けない」という、特に蕨岡小学校の部分はどんな感じなのでしょう。これからいろいろな会議がありますので、お聞きしたいと思います。小中学校の今後を考える会の中で、「複式学級を設けない」というところにずっとこだわっていらっしゃる。そこはどうなっているのか疑問に思っていました。

伊藤新一会長 事務局、お願いします。

佐藤教育課長 蕨岡小学校、先ほど説明しました4月から複式学級になるのではないかとこのことについては、いろいろ検討した結果、～（個人情報取扱いの観点より公開を控える）～蕨岡地区の区長会にもお話をさせていただいております。「仕方がない」と地区のお考えもあって「今までの子どもの教育に対して支障がないよう支援員の配置についても町で手配しながら、子どもの教育も今まで通り行えるようにやっていきたい」と話をしてきたところです。

佐藤憲三委員 分かりました。もう1点いいですか。「蕨岡TIMES」平成28年の2月1日号、小学校統合説明会の中で、当時の教育委員長が「統合は地域の判断で決定するもの」と冒頭で強調されたと記録があるが「地域の判断で決定するもの」はこの部分を指すのでしょうか。

那須教育長 「地域の判断で決める」というよりは、合意形成を諮って進めるということでご理解いただきたい。地域で判断するのではなく、こういう審議会等で地域との合意を諮ること、先ほどの蕨岡小学校が、来年度から人が増える可能性もあるので、3月末ぎりぎりまで決定しないわけですが、支援学級が1つできる。普通、支援学級がなくてそうすると5学級になってしまう。そうすると9名いる先生のうち、一気に2人の先生がいなくなり厳しい状況になる。学級数が6で変わらないものですから、9名の担当の先生が残っていただける。教員の人数としては現状と同じということで、一気に複式に行く状況とは違います。複式学級になってご苦労をかける学年も出てきますが、今この適正整備審議会を立ち上げて、地区からの合意形成の意見を交わし、行くときはこの前の答申にあったように一緒に行くということで段取りをしてほしいと地区の声、たくさんの意見を伺っておりますので、そこはご理解いただきたい。わたしは合意形成と理解しておりました。

伊藤新一会長 佐藤憲三委員よろしいでしょうか。

佐藤憲三委員 はい。

伊藤新一会長 蕨岡小学校PTA会長 今野博義委員。

今野博義委員 今お話が出てきましたが、平成28年の際に蕨岡小学校と遊佐小学校を統合することを検討する話し合いがなされました。これが行われたのは平成27年12月に保護者、地域の方にお話がありまして、翌年の3月末までに結論を得たいというお話で、話し合いが進められました。当時もPTA会長だったので、もちろん保護者の方にも、地域の方にもお話し合いをしていただいて、我々が一番優先したもの、子どもたちにとって保護者にとって精神的負担、心理的負担を減らしたい。先ほどの資料4小中学校の今後を考える懇談会の設置要綱のP4、話し合いがなされた結果、他の学校でも同じような問題が起こるだろうと、当時のPTA会長、ここに名前が載っている方、私も含めて3名ここにおりますが、その中で「記」の上、（1）複式学級を設置しない。（2）各学年2学級以上の規模が

望ましい。の両者が同時に達成できない事情があるとするならば、児童・保護者・地域・学校関係者の心理的負担の大きい数年単位での統廃合を繰り返さないためにも、例えば蕨岡小学校が遊佐小学校とくっつきました。他の学校も複式学級ができそうなので遊佐小学校に統合しましょうとこの数年間単位で繰り返し統合することを避けましょう。ということを最終的に優先させていただいたこととなります。今回予期せず来年度から複式学級が発生するかもしれないと言われていますが、これに関しても、該当の学年の保護者、地域の方はわたくしも出ていなかったのだから、該当の学年の保護者の方にも詳しく説明させていただいておりまして、現在のところは大きな反対の意見はなく、おおむね理解したという流れになっております。

伊藤新一会長 遡ってのご説明ありがとうございます。他にございませんでしょうか。
那須正幸委員。

那須正幸委員 資料の説明から意見交換に入ってしまった状態で大変申し訳ありませんが、今、蕨岡小学校さんからの話を伺いまして、4年生10名のところが特別支援学級ということで9名になる。現実的にその数字が出てくる。実は吹浦小学校の4、5年生7名と10名になっております。これはあくまでも仮定であります。何らかの諸事情でどなたかが引っ越されなければならない、もしくは他の地区に移動しなければならない場合もあります。今この数字を見たところ、緊急の場合もこれからでないわけではないと思われまので、その辺の対処も審議会の中で行っていただければ、ありがたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

伊藤新一会長 吹浦小学校の状況、こうなったらどうするのか。といった提案。この審議会で取り上げていただきたいという要望。これは承っておきます。

その他ございませんでしょうか。

時間も押しせまって参りましたが、今日は第1回目の審議会ということで、顔合わせ的なものもございますし、資料をお持ち帰りいただき再度検証していただき2回目からはもっと根の深いところの審議をしていこうと思っております。これだけは今日言っておきたいということがありましたら、ご発言いただきたい。

佐藤憲三委員 平成23年度の答申書、資料2P2「町内5校が同時に遊佐町1小学校として統合することが望ましい。」と答申の部分については、現段階ではこれが位置づけでよろしいですね。そうすると昨年度小中学校のPTAの皆さん方が議論された、いわゆる遊佐小、蕨岡小、この2校のことを議論する前に平成23年の段階で5校は一緒になると答申は出ている。その辺は次の会議でいいので、初めて出てくる委員としては、なぜ平成24年の段階で5校が一緒になることが望ましいと答申が出ているのに去年ああいう形になることに疑問点がある。我々が分かるように今度聞きます。

那須教育長 説明しておきます。板挟みではないのですが、「複式学級は設置しない」という前提と「統合は一緒にしましょう」という2つがピタッと合わない。ちょうどいい状態にどの学校も複式が始まるというような「一緒に行きましょう」と言う

年度がうまくできればいいのですがそうはならない。蕨岡小も予定してないのに来年度発生する。吹浦小も先ほど那須正幸委員からあったように今のところセーフだが、親御さんの都合もいろいろ出てきますので、吹浦小が1番早くなったということもありうる。そこの板挟みで大変苦しいところで、教育委員会でなぜ遊佐小学校と蕨岡小学校の話を持ちかけたかという「複式学級を設置しない」とあるのになってしまったのではないかと、どうなっているというご意見の方もいらっしゃる。そこを確認しながら、蕨岡地区としては今の段階で単独で2校を一緒ということは望まないの、ぜひ、この前の審議会で「1小学校に一緒に行きましょう」という基本原則があるのであればそれに則って議論していただいて、その合意形成が諮られたのちに言うということをやぶさかではない。と多数の声をいただいております。そういうことでご理解いただきたいと思います。

佐藤憲三委員 答申書の幅広い考え方。

伊藤新一会長 佐藤憲三委員いいでしょうか。

佐藤憲三委員 はい。

伊藤新一会長 那須正幸委員。

那須正幸委員 次回で結構ですので、資料の提示をお願いしたい。「複式学級を設置しない」という答申書が出ておりますが、吹浦まちづくりセンターの中でも意見が出たが、複式学級におけるメリットデメリット。なぜやらないのか。ということも踏まえての資料をモデルケースでも結構ですので何かあれば次回の会議に提示していただければありがたいと思いますのでよろしくお願いします。

伊藤新一会長 ありがとうございます。事務局、手配をお願いいたします。
その他ありませんでしょうか。
今野博義委員。

今野博義委員 (個人情報取扱いの観点より公開を控える)

那須教育長 (個人情報取扱いの観点より公開を控える)

伊藤新一会長 (個人情報取扱いの観点より公開を控える)
その他ございませんでしょうか。
眞嶋一委員。

眞嶋一委員 先日、藤崎小学校で学習発表会がありました。小学校の場合、非常に地域との結びつきが強い。これは前回の審議会でも付記に「各地域における文化的な役割…」ということが書かれており、我々まちづくり協会においてもまちづくり協会の事業の中で小学校の児童、老人会の繋がりとか色々な面でありますので、今後の審議の中で十分配慮していただければ大変ありがたいと思っております。どう

ぞよろしく願いいたします。

伊藤新一会長 要望ありがとうございます。
その他ありますでしょうか。時間も過ぎておりますので、なければこの辺で第1回の審議会を終了、閉会させていただきたいと思います。

佐藤浩毅委員 要望いいでしょうか。

伊藤新一会長 佐藤浩毅委員どうぞ。

佐藤浩毅委員 (個人情報取扱いの観点より公開を控える)

那須教育長 (個人情報取扱いの観点より公開を控える)

佐藤浩毅委員 (個人情報取扱いの観点より公開を控える)

那須教育長 (個人情報取扱いの観点より公開を控える)

伊藤新一会長 (個人情報取扱いの観点より公開を控える)

佐藤浩毅委員 (個人情報取扱いの観点より公開を控える)

伊藤新一会長 ありがとうございます。
第1回目の審議会を閉会させていただきます。大変貴重なご意見、ご要望等ありがとうございます。御苦労さまです。

佐藤教育課長 どうもありがとうございました。次回は5月下旬を予定しております。なるべく早いうちにご案内を申し上げます。4月に入り役職等の異動で変わることがありましたら、再度推薦をし直したいと考えておりますのでよろしく願いいたします。今回ご指摘いただいた時間関係、出生数の関係、複式学級のメリットデメリット等色々ご意見頂戴いたしましたので、後ほど資料を事前に送付させていただきます。

本日はどうもありがとうございました。